

多様な「知」の 集まりが、 次代の扉を開く

多様な視点で問題解決にあたり、
革新的・創造的な発想を生み出すジェンダー平等社会の実現は、
我が国の最重要課題の一つです。

ジェンダー平等支援事業

ジェンダー平等(=男女共同参画)
意識を醸成し、
将来の日本の発展を担う人材を育成

名古屋大学の 2つの事業

女性リーダー育成支援事業

次代を拓く優秀な女性リーダーを
送り出し、
広く社会に貢献する





「誰もが活躍できる環境づくり」「未来を切り拓く人材の育成」をめざして

ジェンダー平等と 多様性推進の必要性・重要性

現代社会では、性別に関わらず誰もが個性と能力を十分に発揮できる環境づくりが、持続的な発展のために不可欠です。多様な視点や経験が集まることで、革新的な発想や新たな価値が生まれ、教育・研究・職場の質が向上します。ジェンダー平等と多様性推進は、大学のみならず社会全体の競争力強化や課題解決にも直結する重要なテーマです。

名古屋大学とジェンダーダイバーシティセンターの取り組み

名古屋大学では、2001年の「男女共同参画推進提言」発出以来、学内保育所や学童保育所の設置、女性研究者・学生の育成支援、女性教員比率の向上など、国内大学をリードする施策を進めてきました。さらに、国連機関UN Womenの「HeForShe」運動を推進する世界の10大学に、日本から唯一選出され、国際的にもジェンダー平等のトップ

ランナーとして挑戦を続けています。一方で、世界基準で見ると本学の現状はまだ十分とは言えず、さらなる進展が求められています。名古屋大学は、ジェンダー平等の理念のもと、誰もが活躍できる環境づくりと未来を切り拓く人材育成に今後も力を注いでまいります。

名古屋大学特定基金 「ジェンダー平等支援事業」

研究環境を組織から変える支援

名古屋大学特定基金「ジェンダー平等支援事業」は、性別に関わらず誰もが能力を発揮できる社会の実現を目指し、ジェンダー平等意識の醸成と人材育成に取り組んでいます。

2001年から男女共同参画推進にいち早く着手し、女性教員比率の向上やトップリーダー育成、管理職登用の推進など、国内の大学をリードする施策を展開しています。女性教員比率の向上とともに、女性が意思決定に関わる機会の拡大にも力を入れ、本基金の目標であった女性管理職比率20%（2016年5月時点：11.6%）を2022年に達成しました。現在もこの成果にとどまることなく、さらなる向上と次世代の人材育成に向けて、積極的に取り組みを続けています。

ジェンダー平等から生まれる多様性は、研究力の向上や新たな発想の創出につながり、大学全体の競争力強化にも寄与します。皆様からのご支援は、これらの取り組みのさらなる充実に役立てられ、名古屋大学の挑戦への後押しとなります。

主な支援内容・寄附金の使途

- 女性教員比率向上
- トップリーダー育成
- 管理職登用

ご寄附による
ご支援については
こちらから



名古屋大学特定基金 「女性リーダー育成支援事業」

個人の挑戦を直接支える支援

名古屋大学特定基金「女性リーダー育成支援事業」は、次世代を担う女性リーダーの育成と社会への貢献を目指して、多様な取り組みを展開してきています。

2027年度に女性教員比率25%、2030年度には30%以上という目標を掲げ、女性研究者・学生への育成支援や、リーダーの養成、社会への発信など、幅広い分野で環境づくりに力を入れています。性別などにかかわらず自分の関心のあることに取り組み、目標に向かって挑戦できる場を広げることは、大学全体の活力や社会への波及効果も期待されています。

本事業の趣旨にご賛同いただける皆様からのご支援は、これらの活動のさらなる充実に役立てられます。今後とも温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

主な支援内容・寄附金の使途

- 女子学生・院生の育成・支援
- 女性研究者の研究力強化支援
- 教職員を対象としたリーダーシップ研修
- 地域連携・貢献事業

ご寄附による
ご支援については
こちらから



みなさまのご寄附は、次のような形で活用させていただいております（一部抜粋）

- 【女性教員増員】 目標達成部局へのインセンティブ付与
- 【環境整備】 施設利用環境の改善および衛生環境の向上（休憩室・おやこワークスペースの設置等）
- 【研究支援】 着任時のスタートアップ資金の支給、研究環境・設備の整備

こうしたご支援は、名古屋大学のジェンダー平等推進や女性リーダー育成の重要な土台となり、より高い目標の達成を力強く後押しするとともに、人材育成や研究力向上の原動力となります。



おやこワークスペース

ジェンダーダイバーシティセンター
Center for Gender Diversity,
Nagoya University

Development Office (DO室)

TEL:052-789-4993 Eメール:do@kikin.nagoya-u.ac.jp

男女共同参画事務局

TEL:052-789-3939 Eメール:kyodo-sankaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp

